

CF-4500 FFTコンパレータ 外部リレーの設定

INPUT RELAY(外部リレー機能)を動作させるには、csvファイルを作成しそのファイ ルを本体にインポートする必要があります。パソコンのテキストエディタソフトを利用し てファイルを作り、そのファイルをUSBメモリー経由でCF-4500本体にインポートします。

1. メモ帳を利用してcsvファイルを作ります。

①PCのスタートメニューから、すべてのプログラム(P)→アクセサリ→メモ帳を起動します。

②メモ帳を利用して動作させる機能のRS-232CまたはLANコマンドを入力します。

例)平均化スタート(AST)





③csvファイルを作ります。

メモ帳のファイル→名前を付けて保存と操作しファイル保存画面を立ち上げます。

名前を付けて保存		×
(保存する場所①:	🗢 リムーバブル ディスク (G)	
最近使ったファイル		
デスクトップ	USBメモリーのル	ノートに保存します
ک ۲۲ ۴キュメント	適当なファイル名の後に拡張子 .csvを必ず入 カレます。	
マイ コンピュータ	ファイル名(N): CF.csv (保存(S)	保存の実行
	ファイルの種類(1): すべてのファイル 文字コード(E): ANSI ✓	
	ーーーーー、 ファイル	ー の種類をすべてのファイルにします。

※使用するUSBメモリーはTranscendまたはSanDisk製の2GBを推奨しますが、CF-4500とマッチする

メモリーであれば他のものでも構いません。

2. CF-4500本体に機能を割り付けます。

①CF-4500本体のInput Relay画面を立ち上げます。



②USBメモリーを本体に挿入します。



LOADキーを押してファイルを読込みます。



タッチして読込むファイルを指定します	0

FileName	Date/Ti	ime												
cf₊csv	2010/08	/24 10:51:	:30											
					_			_						
					Lo	bad	Can	cel						
					Lo	bad	Can	cel						
					La	bad	Can		Lσ)詰,	አፈ	を宝	行日	╞╼╴
						bad	 フ [·]	アイル	<i>ν</i> σ.)読	込み	を実	行しま	ます
	/ フ ァ	イルを	読込ん	だらチェ			 フ [.] ✔)を	^{cel} アイル そ入れ	レの)読 す。	込み	を実	行しま	ます。
/	/ フ ァ	イルを	読込ん	だらチェ	.ックマ	-ク(フ・ ✔)を	^{cel} アイル えれ	レの. ,ま [:])読 す。	込み	を実	行しま	ます.
nput Relay	/ ファ	イルを	読込ん	だらチェ	.ックマ	-ク(Can フ ✓)を	^{cel} アイル た入れ	レの. ,ま [.])読 す。	込み	を実	行しま	 ます
iput Relay	/ ファ 	イルを PANEL CONI	読込ん; D: OFF	だらチェ	ックマ	-ク(フ ✓)を CLOSE	^{cel} アイル テスれ	レの. ,ま [.])読 す。	込み	を実	行しま	ド す
put Relay EVEL COMP	/ ファ 9 2: OFF / 1 e Name	イルを PANEL CONJ COMMAND	読込ん; 0: OFF FORMAT	だらチェ	.ックマ		 フ ✓)を CLOSE	^{cel} アイル 入れ	レの ,ま ⁻)読 す。	込み	を実	行しま	ます.
Put Relay EVEL COMP	ノファ 9: OFF / I e Name CSV	イルを PANEL CONJ COMMAND AST	読込ん;): OFF FORMAT CF42 R5232C	だらチェ	.ックマ	-ク(フ・ ✓)を CLOSE	^{cel} アイル 入れ	レ <i>0.</i> ,ま ⁻)読 す。	込み	を実	行しま	ます.
Put Relay EVEL COMP Fil 0001 cf.c	/ファ パロFF / I e Name csv I	イルを PANEL CONI COMMAND AST	読込ん; D: OFF FORMAT CF42 RS232C	だらチェ	.ックマ	-ク(フ ✓)を	^{cel} アイル 入れ	レ <i>0</i> . ,ま [.])読 す。	込み	を実	行しま	ξ φ
Put Relay	ノファ ・ ・ OFF / e Name csv	イルを PANEL CONJ COMMAND AST	読込ん; 0: OFF FORMAT CF42 R5232C	だらチェ	.ックマ	-ク(フ ✓)を CLOSE	^{cel} アイル 入れ	レ <i>の</i> ,ま ⁻)読 す。	込み	を実	行しま	とす
Put Relay EVEL COMP 001 cf.c 002 003 003 004	/ ファ : 0FF / / e Name csv	イルを PANEL CONJ COMMAND AST	読込ん? D: OFF FORMAT CF42 RS232C	だらチェ	.ックマ		 フ ✓)を CLOSE	^{cel} アイル こ入れ	レの ,ま ⁻)読 す。	込み	を実	行しま	ξす
nput Relay LEVEL COMP 002 Fil 002 cf.c 003 004 005 006	ן סר ני OFF / e Name csv	イルを PANEL CONJ COMMAND AST	読込ん; 0: OFF FORMAT CF42 RS232C	だらチェ	.ックマ		 フ ✓)を CLOSE	^{cel} アイル ・入れ	レの ,ま ⁻)読 す。	込み	を実	行しま	ξ φ
nput Relay LEVEL COMP 002 Fil 002 003 004 005 006 007	אר סיי פי: OFF / ו פי Name csv	イルを PANEL CONJ COMMAND AST	読込ん; 0: OFF FORMAT CF42 RS232C	だらチェ	.ックマ		 フ ✓)を CLOSE	^{cel} アイル こ入れ	レ <i>の</i> , ,ま)読 す。	込み	を実	行しま	ξţ
nput Relay LEVEL COMP 002 002 003 004 005 006 007 008	ר סר פי OFF / ו פי Name כבאי	イルを PANEL CONJ COMMAND AST	読込ん): OFF FORMAT CF42 RS232C	だらチェ	.ックマ		 フ・ ✓)を CLOSE	^{cel} アイル えれ	レの ,ま)読 す。	込み	を実	行しま	ξţ
nput Relay LEVEL COMP 001 cf.c 002 003 004 005 006 007 008 009	ל יי OFF / ו e Name csv	イルを PANEL CONI COMMAND AST	読込ん; 0: OFF FORMAT CF42 RS232C	だらチェ	.ックマ		フ・ ✓)を CLOSE	^{cel} アイル そ入れ	レの. ,ま)読 す。	込み	を実	行しま	इन
nput Relay LEVEL COMP 002 Fil 002 cf.c 002 003 004 005 006 007 008 009	/ファ :OFF/I e Name csv	・イルを PANEL CONI COMMAND AST	読込ん? D: OFF FORMAT CF42 RS232C	だらチェ	.ックマ		 フ・ ノ)を	^{cel} アイル こ入れ	レの ,ま ⁻)読 す。	込み	を実	行しま	ह े ज
nput Relay LEVEL COMP 002 cf.c 002 003 004 005 006 007 008 009	/ファ ・OFF/I e Name csv	・イルを PANEL CONI COMMAND AST	読込ん? D: OFF FORMAT CF42 RS232C	だらチェ	.ックマ		 フ・ ノ)を	^{cel} アイル こ入れ	レの ,ま ⁻)読 す。	込み	·を実	行しま	ह े ज
nput Relay _EVEL COMP ↓ Fil ↓ 002 ↓ 003 ↓ 004 ↓ 005 ↓ 005 ↓ 005 ↓ 007 ↓ 008 ↓ 009	/ファ *: OFF / I e Name csv	イルを PANEL CONJ COMMAND AST	読込ん? D: OFF FORMAT CF42 R5232C	だらチェ	.ックマ		 フ ✓)を	cel アイJ テ入れ	レ <i>の</i> ,ま)読 す。	込み	·を実	行しま	Eす
Pput Relay EVEL COMP ↓ Fil 0002 0002 0004 0005 0005 0006 0007 0008 0009	/ファ *: OFF / I e Name CSV	・イルを PANEL CONJ COMMAND AST	読込ん? D: OFF FORMAT CF42 RS232C	だらチェ	.ックマ		 フ ✓)を	^{cel} アイJ テ入れ	レの ,ま)読 す。	込み	·を実	行しま	Eす

3. 動作確認を行います。

外部リレーのビューワを開きます。



※USBメモリーをCF-4500本体から抜く時は以下のように操作をして下さい。

